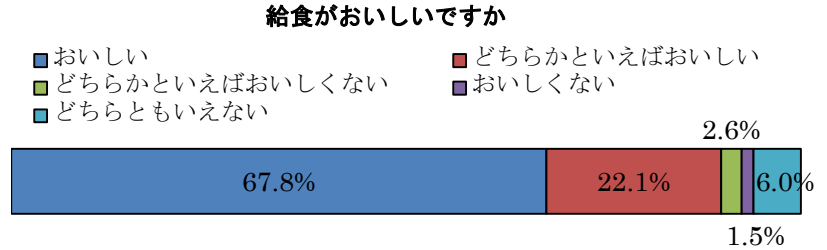


平成24年度 食に関するアンケート調査結果について

1. 調査対象: 児童生徒

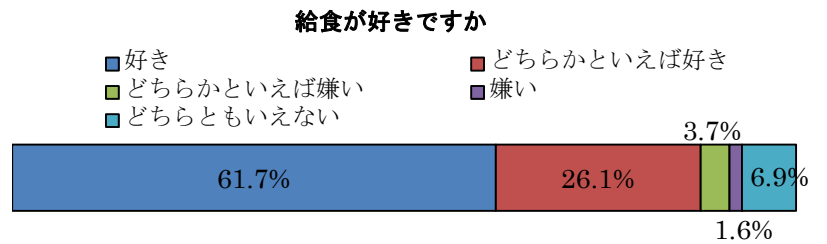
問1 学校の給食は、おいしいですか。

- 「おいしい」「どちらかといえばおいしい」と回答した児童・生徒が 89.9%であった。
今後も引き続き、おいしい学校給食の提供を目指していくことが大事である。



問2 あなたは給食が好きですか。

- 「好き」「どちらかといえば好き」と回答した児童・生徒が 87.8%と、昨年度より 3.7%増加した。また、嫌いと回答した児童・生徒が 1.8%から 1.6%に減少した。
このことから、給食の時間を楽しみにしている児童・生徒が増えていると推測される。



問3 好きな理由は何ですか。(問2で、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた児童・生徒が回答)

- 「おいしいから」と回答した児童・生徒が 68.4%であった。また、「好きなものを食べることができるから」「みんなと一緒に食べることができるから」「家で食べられない料理を食べることができるから」「栄養のバランスを考えた食事を食べることができるから」と回答した児童・生徒が昨年度より増加した。

問4 あなたは給食を残すことがありますか。

- 「主食を残すことがある」と回答した児童・生徒が、昨年度の 10.2%から 7.4%に減少した。「おかずを残すことがある」、「牛乳を残すことがある」もわずかではあるが減少した。給食を残さない児童・生徒が増加していることや、問3の「好きなものを食べることができるから」が増えていることから、嗜好面を考慮した給食の提供や食に関する指導の効果が表れていると推測される。

問5 給食だよりや給食献立表はどのように読んでいますか。

- 「家族の大人と一緒に読む」と回答した児童・生徒が、昨年度の 13.8%から 13.5%に減少した。家庭における食育の充実という観点からも、給食だより等を親子一緒に読むことはよりよい効果につながると推測される。保護者や子どもが興味・関心を持つような「給食だより」「献立表」を今後作成することが必要である。

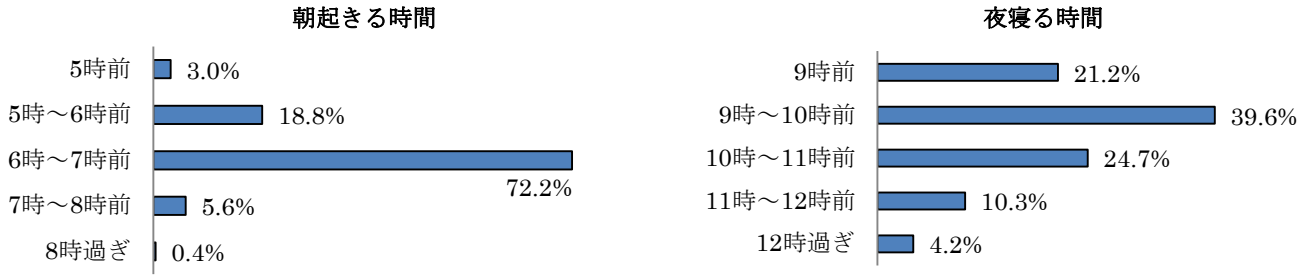
問6 食事のときに嫌いなものが出たとき、どうしていますか。

- 「我慢して食べる」と回答した割合は、中学校より小学校の方が高かった。「食べない」と答えたのは、小学校で 2.1%、中学校では 9.9%と中学校の方が高かった。

問7 あなたはどのようなことに気をつけて食事をしていますか。

- 「三食必ず食べる」「栄養のバランスを考えていろいろなものを食べる」「楽しく食べる」ということに気を付けている児童・生徒の割合が昨年度よりも高かった。特に、小学校では「三食必ず食べる」ことに気を付けている割合が 82.3%、中学校では「楽しく食べる」ことに気を付けている割合が 82.8%と高かった。

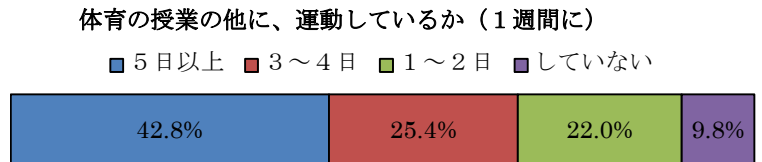
問8 学校がある日の「朝、起きる時間」「夜、寝る時間」は、だいたい何時ごろですか。



- 「6時から7時前に起きる」と回答した児童・生徒が 72.2%と最も割合が高く、次いで「5時から6時前に起きる」が 18.8%であった。
- 小学校では 72.0%の児童が「午後10時前に寝る」と回答しているが、1.0%の児童が「午後12時過ぎに寝る」と回答していた。中学校では「午後11時から12時前に寝る」が 36.6%と最も割合が高く、次いで「午後10時から11時前に寝る」が 35.1%であった。

問9 学校の体育の授業のほかに、運動をしていますか。

- 「1週間に5日以上運動する」と回答した児童・生徒が 42.8%と最も割合が高く、次いで「1週間に3～4日運動する」が 25.4%であった。
- 一方「していない」と回答した児童・生徒が、9.8%であった。特に、中学校では 24.4%の生徒が「していない」と回答していた。



問10 夕食を食べたあと、寝るまでの間におやつを食べますか。

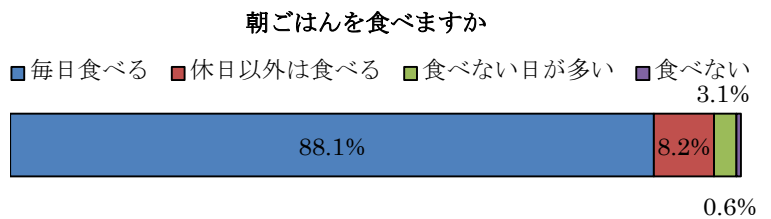
- 「ほとんど食べない」と回答した児童・生徒が 52.9%であった。一方、「ほとんど毎日食べる」と回答した児童・生徒は、12.6%であった。

問11 家で食事をするとき、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしますか。

- 「いつもする」と回答した児童・生徒が 67.8%であった。「いただきます」「ごちそうさま」など食事のあいさつの意味を知り、感謝の気持ちを込めてあいさつができるようにしていくことが大事である。

問12 あなたは、朝ごはんを食べますか。

- 「毎日食べる」と回答した児童・生徒が、昨年度は 90.7%であったが、今年度は 88.1%に減少した。朝食摂取の重要性を児童・生徒に指導していくとともに、家庭にも啓発していく必要がある。



問13 朝ごはんは、だいたいだれと食べますか。

- 「家族そろって食べる」「おとなの家族と食べる」と回答した児童・生徒が、平日は 57.4%であるが、休日は 65.7%と平日より高い割合であった。しかし、「一人で食べる」と回答した児童・生徒が、平日は 14.8%、休日は 16.3%であった。

問14 今日の朝ごはんは何を食べてきましたか。

- 「ご飯(パン、めんなど)とみそ汁(スープ)とおかず」と回答した児童・生徒が、33.3%と最も割合が高く、次いで「ご飯(パン、めんなど)だけ」が 22.0%で、「ご飯(パン、めんなど)とおかず」が 21.2%であった。

2. 調査対象:学校

問1 「食に関する指導」の全体計画や年間指導計画作成について

- 全体計画の作成は、昨年度 88.6%であったが今年度はすべての学校で作成された。
しかし、年間計画を作成していない学校が 13.1%ある。食育を効果的に推進していくためには、年間計画も作成し学校全体での取組として位置付け、関係教職員が連携していく必要がある。

「食に関する指導」の全体計画や年間計画を作成していますか

- どちらも作成してある
- 全体計画のみ作成してある



問2 「食に関する指導」への取組について

- 食に関する指導にあまり積極的な取組をしていない学校の割合は 1.7%であった。すべての学校で積極的に取り組むことが求められる。

問3 食に関する指導体制について

- 「担任と栄養教諭・養護教諭等が組織立てて計画的に指導を行っている」学校は、昨年度の 33.7%から今年度 42.3%と増加した。特に小学校では、39.1%から 47.8%に、中学校では 18.7%から 32.4%と大幅に増加した。栄養教諭等が、積極的にコーディネートや資料提供を行っていると考えられる。

問4 給食の残食について

- 「ほとんど残食はない」と回答した学校が、昨年度の 74.2%から今年度 78.6%と増加した。

問5 食に関して個別対応が必要な児童・生徒(食物アレルギー、肥満、痩身等)について

- 食に関して個別対応が必要な児童・生徒がいる学校は、82.7%であった。特別支援学校においては 100%であった。食物アレルギーの個別対応については、給食施設設備・職員の配置状況など考慮する点が多い。加えて、児童・生徒の症状の確認や生活状況を把握し、きめ細やかな対応を検討していくことが必須である。学校は、対応可否の判断や対応方法等について、保護者と十分な話し合いを持つことが望ましい。